

村上春樹さん高校時に借りた本 報道

地元紙を図書館協会批判

作家の村上春樹さん(66)が兵庫県立神戸高校(神戸市)在学中に図書室で借りた本の書名を、神戸新聞が本人の承諾をとらずに報じた。この記事について調査した日本図書館協会は30日に報告書を公表し、「プライバシーの侵害となる」との見解を示した。

同紙が10月5日付夕刊に掲載した記事は、同校元教諭が図書室の蔵書を整理中に村上さんの名前が書かれた帶出者カードを発見したという内容。村上さんを含む3人の生徒の氏名や学級、貸出日などが読み取れるカードの写真も掲載された。電子版では10人以上の氏名が識別できる3枚のカードの写真も公開された。当時は本の表紙裏に付いたポケットに入ったカードに、氏名などを記入し、カードを預けて本を借りていた。

同協会は「図書館の自由に関する宣言」で、令状を確認した場合を除き、貸し出しや入退館などの記録を外部に漏らさないと定めている。今回の記事はこの宣言に抵触するとして、掲載までの事情を聴取していた。報告書は、カードを適切に入手したとしても本人の同意を得

本人承諾とらず「プライバシー侵害」

ずに報道することは是認できないと指摘。学校側は昔の蔵書を廃棄する際、カードを適切に処分すべきだったとしている。

同協会の「図書館の自由委員会」の西河内靖泰委員長は「内心の自由に関わる読書事実が侵害され、図書館を安心して利用できなくなつては困る」と話す。神戸新聞の小野秀明編集局次長は朝日新聞の取材に「村上さんは日本を代表する作家であり、動向は社会的関心事。報道は公益性が高いと判断した」と話す。村上さんや他の生徒に確認は取つておらず、「村上さん以外の一般の生徒の名前がわかる状態で掲載したのは配慮に欠けたと思ってる」という。読者から指摘を受け、同紙電子版は10月13日にカードの写真をすべて削除した。神戸高校の竹内弘明校長は「軽率な行動だったと反省している。一度どないよう情報管理に気をつけていく」と答えた。

村上春樹事務所によると、村上さんは現時点ではコメントや意見を表明する予定はないとい